

---

# うしろに

石子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
うしろに

【Nコード】  
N8453D

【作者名】  
石子

【あらすじ】  
おねえちゃんが待ってるから、早くお家に帰ろう。

今？　今は駅にいるよ。

お家までは10分もかからないと思うけど。

なんだか遅くなっちゃった。もっと早く帰るつもりだったんだけどなあ。

もう暗くなっちゃったねえ。

え？　声が聞こえにくい？　おかしいなあ。あ。そういえば電話機の調子が悪いってママが言ってたよね。きっとそのせいじゃない？　だって、ワタシにはおねえちゃんの声、よく聞こえるよ。

でね、さっきの話の続きなんだけど……。

今度パパの休みが取れたらみんなでピクニックに行くって話だよ。ワタシすごく楽しみなんだけど、パパったら仕事が忙しいってなかなか連れて行ってくれないよね。

あれ？　おねえちゃんだって、すごく楽しみにしてたでしょう？　ワタシが着る服だって、せっかくおねえちゃんが選んでくれたのに……ピクニックに行けないんじゃない？　あ、着る機会がなくなっちゃうよ。

なに？　その話はもういい、って？

ああ。おねえちゃん、この前そのことでパパと喧嘩してたもんね。え？　そんなこと関係ないって……。

じゃあ、ちよつとはワタシの話にも付き合ってよ。いつもはワタシの方がおねえちゃんの話聞いてるんだから。たまにはワタシの話も聞いてよね。

……でも、そうだよな。行けないピクニックの話しててもしょうがないもんね。

じゃあ、違う話なんだけどね。

おねえちゃん、前に都市伝説が載ってる本、友達に借りて読んで

たでしょ？ 車のバックミラーに幽霊が映ってたり、人形の髪の毛が伸びたりするような話。

なによ？ この話もやめろ、って？

なんか、さつきからワタシが話すことに否定的だね。

そっか、確かおねえちゃんこついう話苦手だったよね。あの本も、おもしろいからって無理やり押し付けられたって言ってたっけ。

それにしてもおねえちゃんは怖がりだなあ。怖がるような話じゃないのに。

そういえば。今日は確かパパもママも仕事で遅くなる日だよ。

お家にはおねえちゃん一人だけなんだ？

小さい頃はさ、心細くなるとよく手を繋いでパパとママの帰りを待ってたよね。最近そういうこともなくなっちゃったけど。ちょっと懐かしいなあ。

……そうそう。話がそれちゃったよ。

つまり、ワタシが言いたいのはね。そういう都市伝説って、馬鹿馬鹿しいって思う人も多いんだろうけど意外とあなどれないなって思うんだ。

うん？ やっぱりそんな話聞きたくない、って？

やだなあ。別に怖がらせるために言ってるんじゃないんだよ。

あ。もう公園の角のところまで来たよ。お家までもうすぐ。

あー！ ダメダメ！ 切らないで。

ひどいなあ、おねえちゃん。ワタシの話はこれからなのに。

あのね。その本に書いてあったよね。捨てた人形がその持ち主のお家に帰って来る話。

まず持ち主に電話がかかってきてさ、「何で私を捨てたの？」みたいなことを言うんだよね。ワタシは、そんな恨みがましいこと言う人形なんて人形として失格だと思うんだけどね。

で、その人形は「今家に帰ろうとしているのよ」って言って、自分が今いる場所を言うのね。

そしてしばらくしてからまた電話がかかってきて、また人形が居

場所を言つと前よりもお家に近づいてるの。そんなやり取りが何回かあつて、最後にかかつてきた電話では「今あなたのうしろにいるの」って言うのよ。

覚えてる？ その話を本で読んだとき、おねえちゃん怖がつてたよねー。

隣にいたワタシにもその話を読み上げてくれたんだよ。

そんなに怖いなら読まなければいいのに、ってその時は思ったんだけどね。

でも、今となつては、ワタシが思うのは……。

その話がそんなに怖かつたのなら、ワタシのこと捨てなければよかったのに。

前はどこにでもワタシのことを連れて行つて、みんなに「私の妹なの」って紹介してくれてたのにね。

ママに言われたから、っていう理由で捨てられた妹の気持ち、わかるかな？

今……？

おねえちゃんのうしろにいるよ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8453d/>

---

うしろに

2010年10月11日02時23分発行